池三小建て替えを考える有志の会

　勇士会　会報誌Ｎｏ１9

平成23年11月14日

地域の皆様

**～　　希　　望　　と　　夢　　を　　重　　ね　　て　　～**

平成２６年度から始まる池袋第三小学校の建て替えを考える有志の会『勇士会』の会報誌第19号です。



《１０月２４日の勇士会にて》

　3月11日から8カ月。何を残し、何を大切にしていけばよいのか

もう一度、振り返って考えてみました。

近年新しく建て替えられた学校は省エネ機材を導入しているものの、使用電気機器の数が増えていて、学校全体としての年間電気使用量が建て替え前の何倍にもなっているケースが多いようです。

この度の震災・原発事故により現在も家に帰れず、家族離れ離れで生活していらっしゃる方々を想っても、電気に頼り過ぎる私たちの生活を考え直さなければならないと、誰もが考えていらっしゃることでしょう。

そこで、これまで皆様から出して頂いたご意見の中から、電気を使わない、もしくは省エネの方法を取りだし、今回新たに出た意見を足して下記に記載してみました。

《自然エネルギーについて》

・先日テレビでも地熱を取り扱っていました。個人宅でしたが冷暖房は使用していないようで、学校にもあったらなとおもっていたら都内の小学校でもあると知りました。

（地熱利用：杉並区・荻窪小学校、その他の自然エネルギーを取り入れている学校：太陽熱発電：川崎市・西丸子小学校他小中学43校、風力発電：京都市・羽塚師小学校、間伐材を利用したペレットストーブ：岐阜県高山市北小学校）

・地熱利用：地下５メートルは、ほぼ１年中１５℃。サーマプラグ、韓国式オンドル等

・風力発電：フクロウの羽の原理を使い静かで微風でも回せる小型のものも開発されたとのこと。

　　　　　　（ゼファー社の家庭用風力発電）

・ソーラーパネルは埃が積もると効率が悪くなるので簡単に拭き掃除出来る環境にする。

・ソーラー防災灯

・自家発電装置

・太陽光採光システム：反射板を使い太陽光を内部まで送る装置の導入

・雨水利用

・地下水脈の利用：池三小の近くにはたくさんの井戸がある。井戸水を利用した蓄冷ウオール



・樹木の対流を利用：

夏は南側の樹木や緑のカーテンで強烈な日射の侵入を和らげ、葉っぱの蒸散作用で涼しさをつくる。また、北の樹木が冷気を生み室内の低いところから入り（冷風スリット）、南側の上部の窓へぬける。

冬は、北側の樹木が北風をさえぎり、南側は落葉し、陽だまりの温かさを床面に充て、蓄熱型

床暖房。シーリングファンで低速に下向きに風を送り天井に溜まった熱気を下に抑えつける。

《施設について》

・体育館と特別支援学級は１階に

・風通しの良い教室

・教室の壁は可動式：広さを変えることで冬の風を防ぐ

・屋上緑化：天井の温度を下げる。但し、雨漏り修繕、張替の出来る仕様にする。

・校庭の芝生化：反射熱を防ぎ、葉っぱの蒸散作用により、涼しい風を送ることが出来る。

・雨水・井戸水からの自動散水装置をつける

以上です。

たくさんのご意見や資料を頂きありがとうございました。

　　勇士会は１月1度行われています。地域の方でも保護者の方でも参加できますので、みなさん気軽に参加して楽しく意見を言って頂き、皆様のお知恵を拝借したいと思います。参加ご希望の方、また、ご意見をお持ちの方は下記の用紙に記入頂き、池三小主事室の隣の集会室の箱に入れて頂くか、e-mailでも受け付けております。無記名でも結構です。

（ike3tatekaeu4nokai@yahoo.co.jp）

————————————————————————————————キリトリ————————————————————————————————————

建て替えを考える勇士会へ

〈　ご意見　〉

　ご住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ご氏名